

県外派遣報告書

審判員名	小泉 登		所属	ミニ連	
大会名	第35回関東ミニバスケットボール大会				
期 間	2013/12/21～2013/12/23				
会 場	ひらつかサン・ライフアリーナ(平塚市)・秩父宮記念体育館(藤沢市)				
スケジュール					
期 日	内 容			場 所	
2013/12/21	審判会議			レンタルホーム湘南平塚	
2013/12/22	男女予選リーグ			ひらつかサン・ライフアリーナ	
2013/12/23	男女2位リーグ			秩父宮記念体育館	
会議 講義 内容					
<p>講師：清水幹治氏</p> <p>インターハイで使用したPPTを使用して、視覚的に非常に分かり易い講義をして頂きました。特に印象的だったのが、マニュアルに則しながらも、清水氏だったらゲーム中こうするといった様に、ご自身がオンザコートで感じている事をお話し頂きました。</p> <p>まずは、様々なシチュエーションを例に挙げられ、正解は無いが自分だったらこうするし、相手にはこうして欲しいというように2人の協力に関してお話を頂きました。シチュエーションがどうであれ、何故お互いがある位置にいるかを、2人が共通理解を持っているかが非常に大事な事。それが2人の協力に繋がっていくとの事でした。またプレーの見方についても講義頂き、プレイヤーの状態を判断しない。”プレイヤーが何を考えているか”を、考えなければいけない。また、”プレイヤーがこうやると思った”は予測ではない。色々な事に対応できる引き出しを持つことが予測であるとの事。</p> <p>最後は選手が触れ合いを起こしている画像を使用して、正しい判定の為にシリンダーの概念を正しく適用することを説明頂きました。</p>					
実技					
	期 日	2013/12/22		男子 女子	
担当試合	対戦カード	清原ロケッツ	VS	堤ヶ丘	主審 副審
	相手審判	黒滝氏(神奈川)			
ミーティング内容			主任	川津氏(埼玉)	
<p>現場に足を運んでプレーを判定しようとする部分は良い。しかし最終局面の大事なところで足を運んでいないことがあるので、判定できていないプレーがある。もっと先のプレーをイメージできるようにしないと、判定に繋がらない事が多くなってしまう。</p> <p>選手の心理状態を把握することも重要である。粗暴なプレーをした選手に対して、その状態のままプレーを続けさせるのは、良くないのでベンチとは別の立場である審判として、選手をコントロールしていかなければいけない。</p>					
	期 日	2013/12/22		男子 女子	
担当試合	対戦カード	間々田東	VS	桜ヶ丘	主審 副審
	相手審判	武藤氏(茨城)			
ミーティング内容			主任	清水氏(本部)	
<p>同点で終了した試合だった。ベンチが納得して終わったのか？</p> <p>最後に自分が取り上げたファールにより間々田東の選手が退場した。間違いなくファールであったが、過程を考えると、ベンチはファールとは納得しない。もっと最初から丁寧にプレーの確認をしなければいけないし、最終局面の判定をもっとしっかりと行わないといけない。判定をするための材料が少ない。審判は2人で試合の始まりからコツコツ判定を積み上げていくもの。途中崩れたとしても、またそこから積み上げていかなければならない。そして、試合を終わらせていくもの。その為にも相手審判とゲームの途中で、擦り合わせをしなければいけない。どう終わらせるかをもっと考えた方が良い。</p>					

実技						
	期 日	2013/12/23		男子 <u>女子</u>		
担当試合	対戦カード	舞浜(千葉)	VS	多摩フェアリーズ(東京)	主審	<u>副審</u>
	相手審判	田代氏(神奈川)				
ミーティング内容				主任	中嶋氏(神奈川)	
<p>試合の入り方が良くなかった・途中からは盛り返してきたがもっと入りを大事にした方が良いとの指摘を頂いた。 自分としては緊張して臨んだつもりは無かったが、ファーストプレーに関して、ダブルホイッスルで鳴らすべきプレーを鳴らせなかった。そこからプレーに出遅れてしまったと感じた。途中からではあるが、気持ちを切り替え判定に集中して、なんとか持ち返すことができた。しかし相手の田代氏に非常に助けられる部分が多くなってしまった。関東大会という非常に大事な舞台でこぼさず、しっかりと判定する為には、精神状態をいかに試合に向けられるかが重要という事を再認識した試合であった。</p>						
実技						
	期 日	2013/12/23		男子 <u>女子</u>		
担当試合	対戦カード	大井(神奈川)	VS	MBC長田(茨城)	<u>主審</u>	副審
	相手審判	管氏(東京)				
ミーティング内容				主任	田代氏(神奈川)	
<p>審判としてファールの基準にブレがあるとの指摘を頂いた。 MBC長田は身長が低い為、終始積極的なディフェンスを仕掛けており、初めから手の使い方・体の寄せを整理していかなければならない試合であった。しかし前半、MBC長田のディフェンスに対して、大井がプレー出来ていると判断してファールをおいてしまった。その結果中盤から後半にかけ、前半鳴らさなかったプレーに対し、笛を入れなければいけないケースが多くなってしまった。やはり、前半から細かいファールを積み上げていく事が、選手・ベンチに対しての明確なメッセージになり、スムーズな試合になると感じた。</p>						
全体の感想						
<p>清水幹治氏に初日の反省でお話頂いた、審判は試合の初めからコツコツと判定を積み上げて試合を運営していき、しっかりと試合を終わらせなければならないという事が今回非常に印象に残っております。局面だけで判定していたものが、最終的にはどう繋がっていくかを、しっかりと考えなければいけないと感じました。この経験を活かして今後の審判活動をしていこうと思います。 今回は神奈川県ミニバスケット連盟の方々を始め、講師の方にも非常にお世話になりました。本当にありがとうございました。また今回私を関東大会へ派遣して頂き、貴重な経験の機会を与えて頂いた埼玉県ミニバスケット連盟審判委員会の皆様に御礼申し上げます。</p>						